

1年生 児童 17名	平成27年11月19日(木) 5校時	会場 1年生教室
	≪道徳学習指導案≫ 主題名：あたたかい心で親切に 資料名：はしの上のおおかみ	

わらいとする道徳的価値

＜平成20年 小学校学習指導要領解説 道徳編より＞【第1学年及び第2学年】

2-(2) **幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。**

この段階においては、身近な人に広く目を向け、温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考えを深められるよう指導する必要がある。特に、身近にいる幼い人や高齢者等との触れ合いの中で、相手のことを考え、優しく接し、具体的に親切な行為ができるようにすることが求められる。

＜平成27年 小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編より＞

B(7) 親切、思いやり 【第1学年及び第2学年】

身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。

この段階においては、家族だけでなく家の周りの人や学校の人々、友達などとの関わりが次第に増えてくる。発達的特質から自分中心の考え方をすることが多いが、様々な人々との関わりの中から、相手の考えや気持ちに気付くことができるようになる。

指導に当たっては、幼い人や高齢者、友達など身近にいる人に広く目を向けて、温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考えを深められるようにすることが必要である。そして、身近にいる様々な人々との触れ合いの中で、相手のことを考え、優しく接することができるようにすることが求められる。また、その結果として相手の喜びを自分の喜びとして受け入れられるようにし、具体的に親切な行為ができるようにすることが大切である。

※親切の対象を広げられるようにするため、
「幼い人や高齢者など身近にいる人」を「身近にいる人」に改めた。

よりよい人間関係を築く上で求められる基本的姿勢として、周りの人に温かい心で接し、親切にすることが大切である、という内容項目であると捉える。発達的特質から、まだまだ自己中心的な考え方をすることは多い時期であるが、学校という集団生活の中で、「親切にしたら相手が喜んでくれた。」「親切にしたら自分もうれしい気持ちになった。」という経験をたくさん積むことが大切であると考えられる。

学習指導要領によると、1・2年生の内容項目には「思いやり」という文言は含まれておらず、「温かい心で接し、親切にする。」と記されている。「思いやり」は3・4年生の内容項目からである。そのことから、1年生という現段階では、「自分がしてもらってうれしかったことを身近な人にもしてあげる」、というよい行いの模倣からスタートし、徐々に相手の立場に立って親切に接する方法を学んでいくことができればよいと期待される。教師としては、児童の親切な行動を観察し、具体的に伝えていくことで、児童が「親切にするとはどんな行為なのか」という気づきに繋がっていくと考えられる。

児童の実態

《省略》

第1学年 道徳教育の全体計画と本時とのかかわり

各教科等における道徳的な学び	道徳の時間	※私たちの道徳の活用	行事 特別活動 地域・家庭連携
<div data-bbox="106 394 475 488">6月国語科 「けむりのきしゃ」</div>	<div data-bbox="517 203 871 461">4月 主題名「思いやり」 資料名『あめのひ』 ・周りの人の気持ちを考え、思いやりながら生活する心情を育てる。</div>	<div data-bbox="895 333 1139 461">「気持ちのよいふるまいを～あいさつをそだてていきましょう～」</div>	<div data-bbox="1161 215 1473 304">5月学活 友達と仲良く</div>
<div data-bbox="106 611 475 739">1月国語科 「学校のことをつたえあおう」</div>	<div data-bbox="517 477 871 757">11月【本時】 主題名「あたたかい心で親切に」 資料名『はしの上のおおかみ』 ・身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする態度を育てる。</div>		<div data-bbox="1161 365 1473 454">9月学活 炊事遠足に向けて</div>
<div data-bbox="106 757 475 922">3月国語科 「おてがみ」 生活科 「もうすぐ2年生」</div>	<div data-bbox="517 775 871 913">2月 主題名「思いやり」 資料名『たんぼぼ』</div>		<div data-bbox="1161 775 1473 864">2月行事 新1年生体験入学</div>

資料について

橋の上で、自分より小さな動物を通せんぼし、おおかみはいい気分になっている。そんなとき、向こうから大きなくまがやってくる。おおかみはあわてて道を開けようとするが、くまはおおかみを優しく抱き上げ、通してあげる。くまの行為に心を打たれたおおかみは、くまのように小さな動物に対して優しく接し、道を通してあげられるような優しいおおかみになる、というお話である。

本資料は、大きく分けて2つの場面で構成されている。一つは「自分より弱い者に対して、いじわるをし、強い者には逆らえないおおかみ」が描かれている場面（P72の2行目まで）、そして「優しくくまに出会い、その優しさから変容し、自身も友達に優しく接するおおかみ」の場面である。この資料では「意地悪をする気持ち良さよりも、親切にする気持ち良さの方がずっと大きい」や「一つの親切は、次の親切を生む」ということを実感させる資料であり、「親切」について考えるのに適した親しみやすい資料であると考えられる。

授業のポイント

身体表現化による「できる感覚と自信」を共有する活動を通して、親切にすることの大切さについて主体的に考えられる授業

手立て① 全員が考え、意見をもてるようにするための「表情カード」や「ハートカード」の活用

うさぎを追い払ったおおかみはどんな気持ち？ → ・いじわる
・おもしろがってる

・くまさんはやさしい
・うれしいな ← くまの後ろ姿を見ながら、おおかみはどんな気持ち？

くまさんみたいにやさしくなりたい ← いじわるなおおかみはどうしてやさしくなった？ → やさしくするほうが、きちがいから

手立て② できる感覚と自信を共有するための、身体表現化の活用

どんな気持ち？ どうして？ → しんせつは気持ちがいいな。だって・・・、しんせつはつながるんだな。だって・・・

研究の視点

(1) 指導計画の工夫改善

① 実態を踏まえた『心に響く資料』の活用

主人公のおおかみの行為が、くまのやさしさによって大きく変容するという、魅力ある資料である。意地悪に気持ち良さを感じていたおおかみが、くまの真似をすることで親切の気持ち良さのほうはずっと気持ちよいことに気づかされる。おおかみの気持ちの変化をたどりながら、親切の大切さに気づかせるために、資料を少しずつ読み進める工夫を行う。

教材提示は読み取りの部分で児童につまずかせないために、教師の読み聞かせにする。その代わりにペープサートや、登場人物や場面を記す絵を適宜用い視覚化を図る。

② 資料を活かす『問い』の工夫

クラス全員が参加し、活動できるような「道徳のユニバーサルデザイン化」の観点から『問い』の工夫を行う。

中心発問は「いじわるなおおかみは、どうしてやさしくなったのでしょうか？」とし、おおかみがとった行動の理由を吹き出しに書く活動を取り入れる。主人公の考えや気持ちを吹きだしに書くことは国語科の学習でも行っているため、児童が参加しやすい活動であると考えた。さらに書くことの苦手な児童のために、「だって・・・。」から理由を書かせるようにする。

一言でも書くことができれば交流することができるため、発言が不得意な児童でも交流に参加できると考えられる。

(2) 伝え合い、深め合う場の設定

③ 発言の整理と板書の視覚化

学級には、発問の後にすぐ挙手し、自分の意見を言うことができる積極的な児童もいる。一方で、自分の意見を言うことに抵抗があり、挙手することは少ないが、何かしらの考えをもっている児童もいる。後者の児童が授業の中で発言できるようにするため、吹き出しに書いたことをペア交流で伝え合う工夫をしていく。その際には考えや思いを深めるために、相槌を打ったり、互いに質問する活動も取り入れる。

いずれの場面でも、表面的な回答やもう少しで大切な価値に迫りそうな回答に対しては、積極的に「問いかえす」、「切り返す」などして、価値の本質的な自覚につなげていきたいと考える。

板書の視覚化については、「表情カード」でおおかみやうさぎの気持ちを選択できるように工夫する。また、表情カードを時系列に追っていくことで、おおかみやうさぎの気持ちの変化が視覚的にわかりやすいようにする。「板書計画」にもあるように、時系列で右から左へ板書する方法を取る。登場人物や場面を記す絵や、子ども達の考えが板書にわかりやすく残るように構成していきたい。

④ 主体的自覚への工夫

学習指導要領解説に「道徳的価値を実践するための適切な行為を主体的に選択し、実践することができるような内面的資質」を高める必要性が記されている。内面的資質の中には、児童が「自分にはできるという感覚や自信」をもつことが含まれていると考えられる。

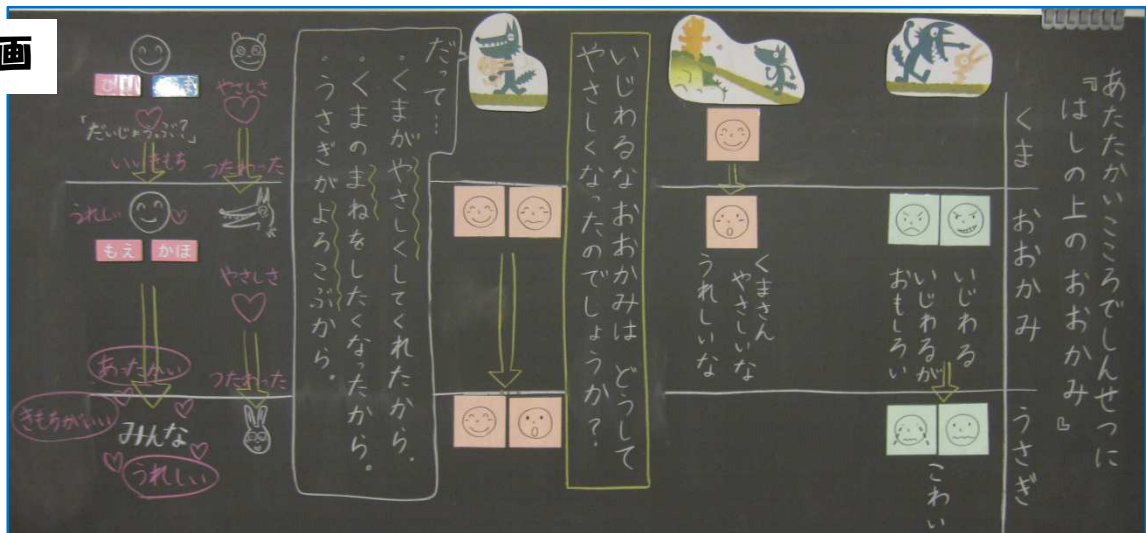
そこで「深める」では、日常生活の中で友達に親切にできるような場面を想定し身体表現化を図る。表現活動をした児童には、行動の理由や今の気持ちについて質問する。行動を見ている児童には、親切な行動を見てうれしくなったり、気持ちが温かくなったときにハートのカードで意思表示できるように工夫を行う。カードを挙げた児童に、「どうしてカードを挙げたのか？」の理由を聞くことで、「自分にもできる」という感覚や自信を共有していきたい。

⑤ 終末の活動の工夫

身体表現化を見た後に「どんな気持ちになりましたか？また、それは どうしてですか？」と問い、ワークシートに書かせる。身体表現化で感じた事を素直に書かせることで、親切の気持ちよさを言葉にさせたいと考える。また、「親切な気持ちは人から人に広がっていく。」という感覚を大事にしたい。

本時で学んだことを軸に、一人一人がじっくりと考えて記述できるように、時間の確保をしっかりと行う。意図的指名で、数人の児童に発表させ、友達の意見に共感しあう雰囲気も大切にしたい。

板書計画



本時の目標

身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする態度を育てる。

本時の展開(1/1)

	子どもの学習活動・意識	教師のかかわり (※評価 ・留意点)
とらえる	1 本時の学習テーマ「あたたかい心で親切に」を確認し、親切にしてもらった経験を発表する。	
	誰かに親切にしてもらったことはありますか？	
考える	<ul style="list-style-type: none"> 友達がティッシュを忘れた時に「どうぞ」って貸してくれた。 勉強で分からないところを、ミニ先生になって優しく教えてくれた。 2 資料『はしの上のおおかみ』のP71の7行目までを聞き、おおかみの行動について考える。	<ul style="list-style-type: none"> 課題意識を持てるようにする
	うさぎたちを追い返したときのおおかみは、どんな気持ちだったでしょうか？	
深める	<ul style="list-style-type: none"> おおかみ→いじわる、いじわるが面白い。 うさぎ→おおかみがこわい。 3 P72の9行目までを聞き、おおかみの気持ちについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> 表情カードを用いて、おおかみやうさぎの気持ちを視覚化する。
	くまの後ろ姿を見ながら、おおかみはどんな気持ちになったでしょうか？	
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> あー、くまさんはなんてやさしいんだろう。 やさしくしてくれてうれしかったなあ。いままでいじわるをして、よくなかったな。 4 資料を最後まで読み聞かせし、おおかみの気持ちの変化について考える。	
	いじわるなおおかみは、どうしてやさしくなったのでしょうか？(中心発問)	
深める	<ul style="list-style-type: none"> だって・・・くまさんがやさしくしてくれたから。 だって・・・くまにしてもらったことがうれしかったから、まねをしたくなったんだ。 だって・・・うさぎがよろこぶとおもったから。 5 日常の中で友達に親切にする場面を想定し、身体表現化する。	<ul style="list-style-type: none"> おおかみがうさぎにやさしくした理由を書かせペア交流させる。 くま→おおかみ→うさぎにやさしさが伝わることを図式化して整理する。
	泣いている友達がいたとき、あなただったらどうしますか？	
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> どうして泣いているのか心配だから「どうしたの？」と声をかける。 もし友達とけんかして泣いていたら、話を聞いてできることをする。 怪我をして泣いていたら、先生に伝えに行く。 6 身体表現化から感じた気持ちや、その理由を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 二組に身体表現化させ、行動の理由や気持ちを聞く。 見ている児童にはやさしい気持ちが伝わったときにハートのカードを挙げさせ、理由を聞く。
	どんな気持ちになりましたか？また、それはどうしてですか？	
	<ul style="list-style-type: none"> やさしくするって気持ちがいいなとおもいました。なぜなら、こころがあたたくなるからです。 〇〇くん(演技をしている友達)がやさしくしているのを見て、いいなあとおもいました。わたしもともだちにやさしくしていきたいです。 やさしいことをまねすればいいとおもいました。そうしたらやさしい気持ちもみんなにつながっていくとおもいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の資料や身体表現化を見て感じたことをワークシートに記入させて見取り、意図的に数名に発表させる。 <div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ※身近な人に親切することの大切さに気づき、親切にすることの気持ち良さについて考えているか(発言, ワークシート) </div>